

業績目録の記載にあたって

- 1 目録は、A4版の用紙に記載すること。
- 2 別紙業績目録の記載例に沿って記載すること。
- 3 業績は、Ⅰ 著書、Ⅱ 総説、Ⅲ 原著、Ⅳ その他に分け、一連番号を付して発表年代の古い順に記載すること。
 - Ⅰ 著書(辞典、教科書、訳書、監修、編集など)

現在までの蓄積された知識を系統的にまとめ、1冊で完結している資料をいう。(単行本、分担執筆など)

 - (1) 著者が単独で執筆した著書にあつては、総ページ数を記載すること。
 - (2) 数名の著者が共同で分担執筆している著書にあつては、著書名は連記し、本人の担当分について章、ページ数を列記する。
 - (3) 編者のあるものについては、著者名とは別に編者名を記載する。
 - (4) 同一の著書に2つ以上の論文を執筆している場合は、「枝番」をつけて記載すること。
 - (5) 辞典、教科書、訳書、自らの執筆部分はないが監修・編集あるいは監訳したものをここに含める。
 - Ⅱ 総説(または評論)

特定分野の最新の研究動向を全体的に展望し、研究の現状・問題点・今後の動向などを示唆する、レフリー制を採る専門雑誌に掲載された論文をいう。
依頼論文であるか、投稿論文であるかにかかわらず、レフリー制を採らない雑誌に掲載されたものは、その他に分類する。
 - Ⅲ 原著

他者が発表していないオリジナルな雑誌論文であるが、下記のごとく分類して記載すること。

 - Ⅲ-1 原著
 - (1) いわゆる原著を指し、以下のケース・調査報告を含まない。緒言・方法・結果、考察・引用文献よりなり、レフリー制を採る雑誌掲載のものを指す。
 - (2) 学位論文は、ここに分類する。また、学位論文には、番号に○印を付けること。
 - Ⅲ-2 ケース・調査報告
 - (1) 症例、調査、専門的体験等に基づいて書かれたもので、オリジナルな内容を持つ雑誌論文であり、レフリー制を採る雑誌に掲載されたものを指す。
 - (2) 1ページものの論文については、コピーを取り寄せ、その都度当委員会において検討する。
 - Ⅳ その他
 - Ⅳ-1 国際学会の Proceedings
 - Ⅳ-2 学会発表

国内外における特別講演、教育講演、シンポジウム、一般発表を記載すること。
 - Ⅳ-3 各種科学研究費の報告書
 - Ⅳ-4 上記以外のもの
- 4 印刷中 (in press) の場合は、掲載証明書を必ず添付すること。
- 5 corresponding author には、番号左側に※印を付けること。
- 6 業績の著者名のうち、本人名にアンダーラインを引くこと。

業績目録の記載例

I 著 書

- 1 北海太郎：発達障害，作業療法概論，作業療法全書（日本作業療法士協会編）．協同医書出版，東京．p196－233, 1991
- 2 HOKKAI, T. : Effects of antidepressant on transmembrane signaling. Signaltransduction in affective disorders (eds. O, H., O, T. & O, N.) Springer-Verlag, Tokyo. p1-6, 1998
- 3 O, G. (北海太郎 訳) : 運動コントロールの生理学、運動行動のメカニズム (O石O泰監訳) . 協同医書出版社, 東京. p63-87, 1999

II 総 説

- 4 北海太郎, O山O子 : 看護学生の実習成績と性格特性及び自我状態との関連性についての検討. 交流分析研究. 22(1) : 61-69, 1997

III 原 著

- ⑤ HOKKAI, T. O, G. & O, Y. : Three-dimensional structure of maize α -zein proteins structured by small angles X-ray scattering. Biohys. Biophys. Acta. 1339:14-22, 1997

IV その他

IV-1 国際学会のProceedings

- 6 HOKKAI, T. O, N & O, Y. : Analysis of finger movement for evaluation of TES effects -Basic studies on healthy subjects-. 2nd International FES Symposium in Sendai. 1995, 10. Proceeding:72-77, 1995

IV-2 学会発表

- 7 HOKKAI, T. O, N., O, K., & O, M : Expression of Po protein in sural nerve of a patient with HMSN type III. 8th International Congress on Neuromuscular Diseases. Kyoto (Muscle Nerve. suppl. :S237, 1994), 1994, 7
- 8 O公OO, O田O勝, 北海太郎, O英OO : 筋伸張 (muscle stretching) が張力に及ぼす影響. 第31回日本理学療法士学会. 名古屋. 1996, 5
- 9 O山O子, 北海太郎, O山O江, O川O紀, O塚O子, O日O輝O : 在宅における慢性疾患患者を持つ母親の養育上困難な事象に関する検討. 第43回日本小児保健学会. 横浜. 1996, 9
- 10 北海太郎 : 運動療法におけるマニュアルセラピーの意義. 第24回J Rリハビリテーション医療学会. 札幌. 1997, 11

IV-3 各種科学研究費の報告書

- 11 北海太郎, O安O而, O福O達 : 音像定位によるフィードバックを利用したバランストレーニングに関する基礎的研究. 平成7-8年度文部省科学研究補助金研究成果報告書. p1-128, 1997